

令和7年度 山北町まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録

1 開催日時 令和7年8月26日(火)

開会：14時00分 閉会：14時50分

2 開催場所 山北町役場 401会議室

3 出席者(敬称略)

(1) 委員 8名

富士急モビリティ株式会社湘南営業所 所長 桑原 圭志

かながわ西湘農業協同組合山北支店 支店長 鳥居 千哲

山北町 副町長 石田 浩二

神奈川県立山北高等学校 校長 多田 功

株式会社山北学園鹿島山北高等学校 校長 石塚 孝男

横浜銀行山北支店 支店長 栗橋 庸介

さがみ信用金庫開成町支店 支店長 瀬戸 秀恭

株式会社タウンニュース社小田原支社足柄編集室 編集長 竹松 誠二

(2) 事務局 3名

参事兼企画総務課長 露木 博文

企画総務課主幹 高橋 和久

企画総務課主事 石村 公一

4 会議概要

1 開 会 参事兼企画総務課長

2 議題

(1) 山北町第2期総合戦略の令和6年度進捗状況について

会 長	それでは、議題（１）山北町第２期総合戦略の令和６年度進捗状況について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	資料により説明。
会 長	この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。
委 員	結果を受けて、町としてはどのように評価しているか。
事務局	印象としては、未達成が多い。新型コロナウイルスの影響で達成が見込めない項目は、下方修正も必要だったのではないかと考えている。また、理事者や各所属長で構成される地方創生推進会議で内容を共有しており、令和７年度から計画期間となっているデジタル田園都市構想総合戦略の施策については、より推進していけるように認識の統一をしている。
委 員	先駆的事業のD52 奇跡の復活事業について、各年度に何の取組も無かったように見受けられる。この事業に対するアプローチは何かあったのか。
会 長	延伸工事の計画を策定したが、一般会計から予算を支出することについて、懸念が示され、クラウドファンディングで資金調達を行うこととした。クラウドファンディングの実施方法については、現在検討中であり、実施方法の確定後、すぐに取り組んでいく予定である。

（２）山北町デジタル田園都市構想総合戦略の進捗状況調査について

会 長	次に、議題（２）山北町デジタル田園都市構想総合戦略の進捗状況調査について、引き続き、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	資料により説明。
会 長	この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。
委 員	基本目標の目標値はどのように設定しているのか。
事務局	各施策の項目については、所管課で目標値の設定を行っているため、項目ごとに目標値の設定方法は異なっている。
委 員	基本目標３の施策「出産や子育てにかかる経済的負担の軽減」指標項目が出産数であり、目標値を４０人としている。令和６年度の実績が１１人であること

	を踏まえると達成が難しいのではないかと。
会 長	希望を込めて、少し高い目標値を設定している。
委 員	KPI を設定している各項目の具体的な取組内容の進捗状況はどのように確認しているか。
事務局	各所管課において、前年度の取組を資料4及び資料5を作成してもらい、進捗状況の確認と効果検証を行う。途中経過は事務局で確認していないため、各所管課に委ねている。
委 員	目標はある程度高く設定しなければいけないものなのか。特に基本目標3の出産数は第2期総合戦略では、令和元年度実績が32人に対し、目標が42人、結果として最終の令和6年度は11人、進捗率26%となっている。人口や世帯構成、年代構成を考慮すると、現実的に40人という目標はかなり厳しいのではないかと。第2期総合戦略は最高でも令和4年度の32人であり、目標には達していない。高い目標を掲げるか現実的な目標を掲げるかは組織の考え方によっても違うと思うが、どのような考えで設定しているのか。
事務局	総合戦略が地方創生の計画であり、本町の人口減少を踏まえると、出産数は力を入れていかなければいけないところである。その点を踏まえるとある程度高い目標値を設定する必要があると考えている。ただし、社会情勢等でどうしても達成が難しい場合等は、目標値の下方修正も検討する必要があると考えている。 また、目標値の所管課は保険健康課であるが、保険健康課の取組だけで目標の達成を目指すわけではなく、元々若い世代を呼び込みたいという町のスタンスがあり、結婚祝い金や新築祝い金等で若い世代が出産や子育てをするうえで経済的な負担を軽減していくというのがこの施策の趣旨であり、各所属で横断的に取り組んでいく。
委 員	横断的なプロジェクトチーム等はあるのか。
会 長	令和6年度に関係課を集めた出産・子育て応援プロジェクトチームが発足し、そのプロジェクトからの提案を令和7年度当初予算に反映している。関係課ご

とに各施策に取り組んでいるが、それぞれ連携を取っているので、所管課だけの取組で目標を達成するものではない。

委 員

基本目標1で農業分野の施策が変わっているが、なぜ変わったのか。オリーブ栽培は厳しい結果であったが、他の項目はある程度いい結果が出ていると思う。

事務局

事務局で基本目標を示したうえで、各所管課がこの基本目標に対してどの施策が効果的かを判断して設定している。その判断をした結果、所管課で施策が変わったという状況である。

委 員

基本目標と施策の妥当性は確認しているか。策定している中で、施策を変更するのは難しいと思うが、そもそもこの施策が目標に繋がるかは別の話だと思う。KPIの数値を達成することが基本目標の達成に繋がるかという確認、効果検証は重要だと思う。効果検証を行った結果、目標に繋がっていないにもかかわらず、計画期間中のその目標を追い続ける必要があるのか。例えば、観瀑台の整備でいえば、達成率が高いが、Googleの検索サイトで洒水の滝を見ると、数年前にタウンニュースで書いた記事ぐらいしかない。それで町としてPRしますというのでは状況が違うのではないか。

事務局

第2期総合戦略の計画期間中の効果検証で、施策が基本目標に見合っていないのではないかという意見があり、地方創生推進会議、まち・ひと・しごと創生推進会議に諮り、施策や目標を改訂した経過がある。デジタル田園都市構想総合戦略もそういった意見があれば、改訂を検討していく。

委 員

デジタル田園都市構想総合戦略の方もそういった柔軟性がないと意味のないことを続けてしまうことになる。全体で意見を出しながら、改訂も含めて効果検証をしていくということで承知した。

(3) 新しい地方経済・生活環境創生交付金について

会 長	次に、議題（３）新しい地方経済・生活環境創生交付金について、引き続き、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	資料により説明。
会 長	この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。
委 員	意見なし。

（４）企業版ふるさと納税について

会 長	次に、議題（（４）企業版ふるさと納税について、引き続き、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	資料により説明。
会 長	この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。
委 員	意見なし。

３ その他

事務局	今後のスケジュール及び議事録の確認について、説明。
-----	---------------------------

４ 閉 会 多田副会長

以 上